



暮らしの安心と未来への投資 両立予算

令和7年度 旭川市の予算はどうなっているの？

ASAHIKAWA CITY



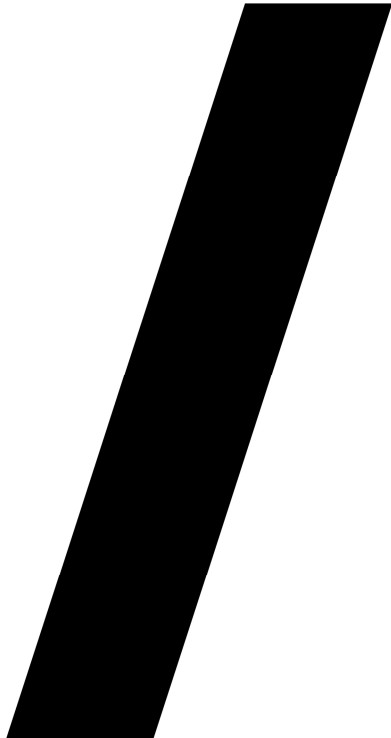
はじめに

「旭川市の予算はどうなっているの？」は、予算の内容を市民の皆さんに分かりやすくお知らせするため、作成しています。

令和7年度は、徹底した行財政改革による将来負担の軽減と物価高騰対策、未来に向けた投資を主眼に置き「暮らしの安心と未来への投資両立予算」を計上しました。

この冊子を通して、旭川市の予算についてご理解をいただければ幸いです。

ASAHIKAWA CITY



目 次

令和7年度の予算規模と財政状況のポイント・・・・・・・・・・	1
1 令和7年度予算の概要	
令和7年度の予算全体はどうなっているの？	
会計について・・・・・・・・・・	2
各会計当初予算比較・・・・・・・・・・	2
令和7年度の一般会計の歳入予算はどうなっているの？	
歳入予算の概要・・・・・・・・・・	3
令和7年度の一般会計の歳出予算はどうなっているの？	
歳出予算の概要・・・・・・・・・・	4
2 財政状況の推移	
一般会計の歳入・歳出予算の推移はどうなっているの？	
歳入予算の推移・・・・・・・・・・	5
歳出（目的別）予算の推移・・・・・・・・・・	5
歳出（性質別）予算の推移・・・・・・・・・・	6
財政調整基金の取崩額と残高の推移はどうなっているの？	
財政調整基金の取崩額の推移・・・・・・・・・・	7
財政調整基金残高の推移・・・・・・・・・・	7
市債残高の推移はどうなっているの？	
市債残高の推移・・・・・・・・・・	8

※市の予算は、千円単位で作成していますが、この冊子では分かりやすくするために万円単位などで表示しています。
四捨五入等により端数処理しているため、金額や割合の合計などが合わない場合があります。

令和7年度の予算規模と財政状況のポイント

● 予算規模

一般会計

< 過去最大 >

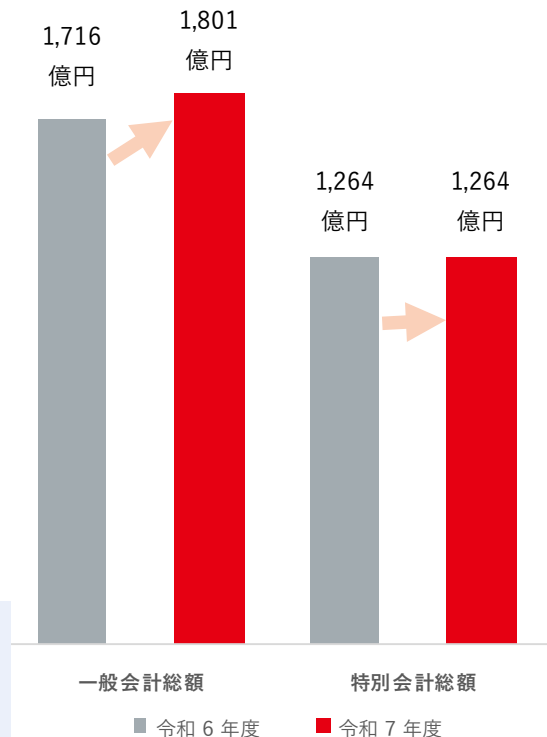
1,801 億円 (前年度比 + 86 億円)

特別会計※

1,264 億円 (前年度比 + 0 億円)

※特別会計

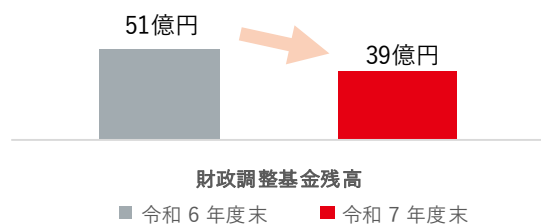
国民健康保険事業、動物園事業、公共駐車場事業、育英事業、介護保険事業、母子福祉資金等貸付事業、後期高齢者医療事業、公営企業（上下水道、病院）



● 財政状況のポイント

財政調整基金残高見込（貯金）

39 億円 (前年度比△12 億円)



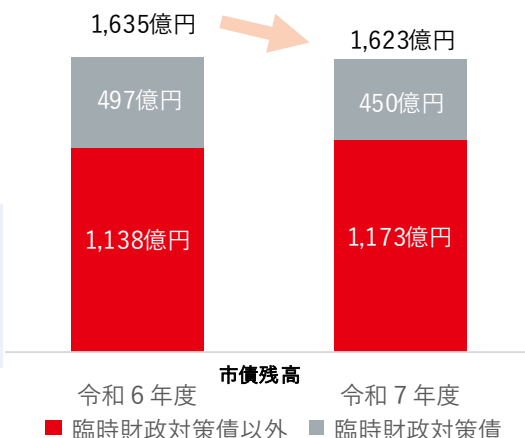
市債残高見込（借金）

1,623 億円 (前年度比△12 億円)

臨時財政対策債※ 450 億円 (前年度比△47 億円)

臨時財政対策債以外 1,173 億円 (前年度比 + 35 億円)

※3 ページに用語解説を記載しています。



令和7年度の予算全体はどうなっているの？

●会計について

旭川市の予算は、一般会計と10の特別会計があります。

一般会計

道路や公園の整備、学校の建設、福祉事業、市民活動の支援、除雪、ごみ処理、健康づくりなど、市民生活全般にわたる支出や収入などを経理する基本的な会計です。

特別会計

特定の収入を特定の事業に使う場合など、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けている会計です。

また、特別会計の中でも、水道事業、下水道事業、病院事業は「公営企業会計」といい、地方公営企業法の適用を受け、民間企業と同じように料金収入によってサービスの提供を行っています。

●各会計当初予算比較

区 分		令和 7 年度	令和 6 年度	増 減	伸び率	
一 般 会 計		1,801 億 4,000 万円	1,715 億 7,000 万円	85 億 7,000 万円	5.0%	
特 別 会 計	国民健康保険事業		341 億 2,443 万円	356 億 8,399 万円	△ 15 億 5,956 万円	△ 4.4%
	動 物 園 事 業		26 億 703 万円	19 億 1,447 万円	6 億 9,256 万円	36.2%
	公 共 駐 車 場 事 業		9,273 万円	9,545 万円	△ 272 万円	△ 2.9%
	育 英 事 業		2 億 5,724 万円	2 億 7,852 万円	△ 2,128 万円	△ 7.6%
	介 護 保 険 事 業		370 億 5,456 万円	379 億 3,144 万円	△ 8 億 7,688 万円	△ 2.3%
	母 子 福 祉 資 金 等 貸 付 事 業		1 億 5,737 万円	2 億 8,001 万円	△ 1 億 2,264 万円	△43.8%
	後期高齢者医療事業		65 億 7,858 万円	65 億 3,999 万円	3,859 万円	0.6%
	公 営 企 業 会 計	水 道 事 業	132 億 9,958 万円	130 億 4,257 万円	2 億 5,701 万円	2.0%
		下 水 道 事 業	157 億 848 万円	147 億 1,032 万円	9 億 9,816 万円	6.8%
		病 院 事 業	165 億 8,272 万円	159 億 8,312 万円	5 億 9,960 万円	3.8%
計		1,264 億 6,272 万円	1,264 億 5,988 万円	284 万円	0.0%	
合 計		3,066 億 272 万円	2,980 億 2,988 万円	85 億 7,284 万円	2.9%	

一般会計は、5年連続で前年度を上回り、過去最大の規模となりました。

特別会計は、下水道事業が施設整備費の増により増加する一方、国民健康保険事業が被保険者数の減により減少し、全体では前年度とほぼ同額となりました。

一般会計と特別会計の合計では、6年連続で前年度を上回っています。

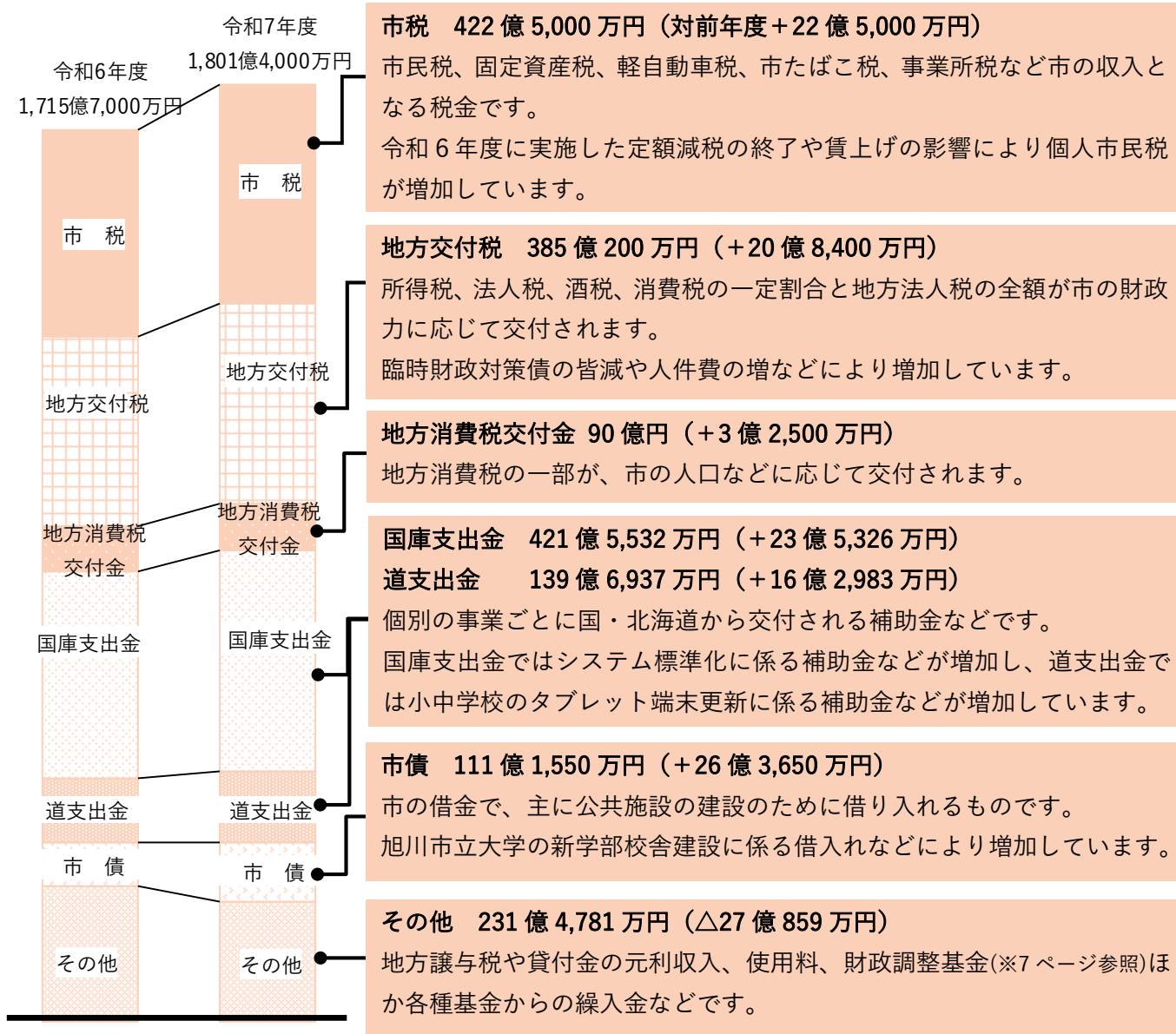




令和7年度の一般会計の歳入予算はどうなっているの？

●歳入予算の概要

前年度から市債や国庫支出金が増加しています。



《用語解説》

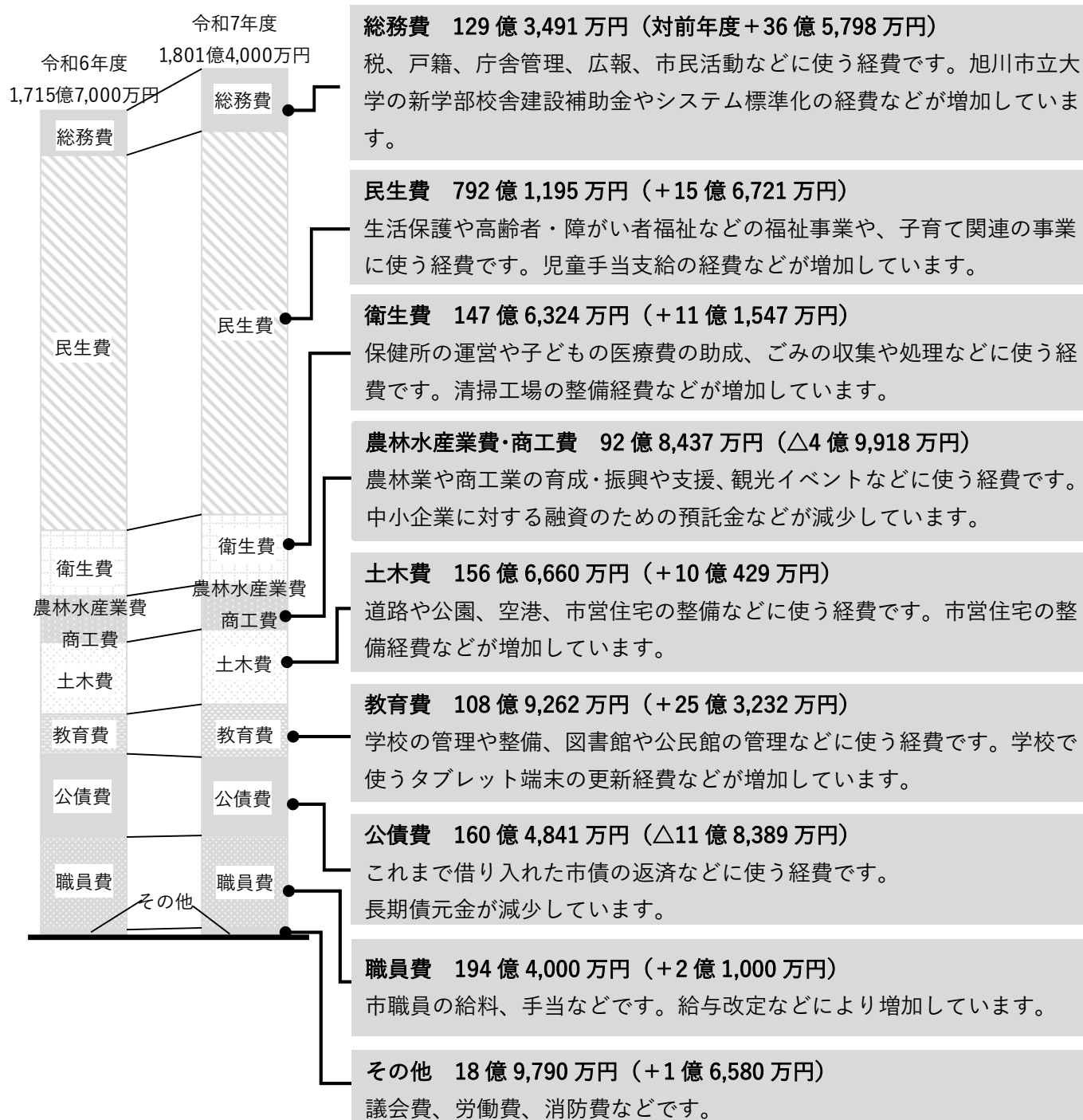
臨時財政対策債（臨財債）

国は、地方団体（都道府県及び市町村）全体の収入・支出を見積もった地方財政計画の策定を通じ、地方交付税の財源を確保することとされておりますが、平成13年度から令和6年度までは交付税財源が不足し、それを国と地方が折半して補う状況が続き、各地方団体が地方債（借金）で補っていました。これを「臨時財政対策債」といいます。

令和7年度の一般会計の歳出予算はどうなっているの？

●歳出予算の概要

前年度から総務費や教育費が増加しています。

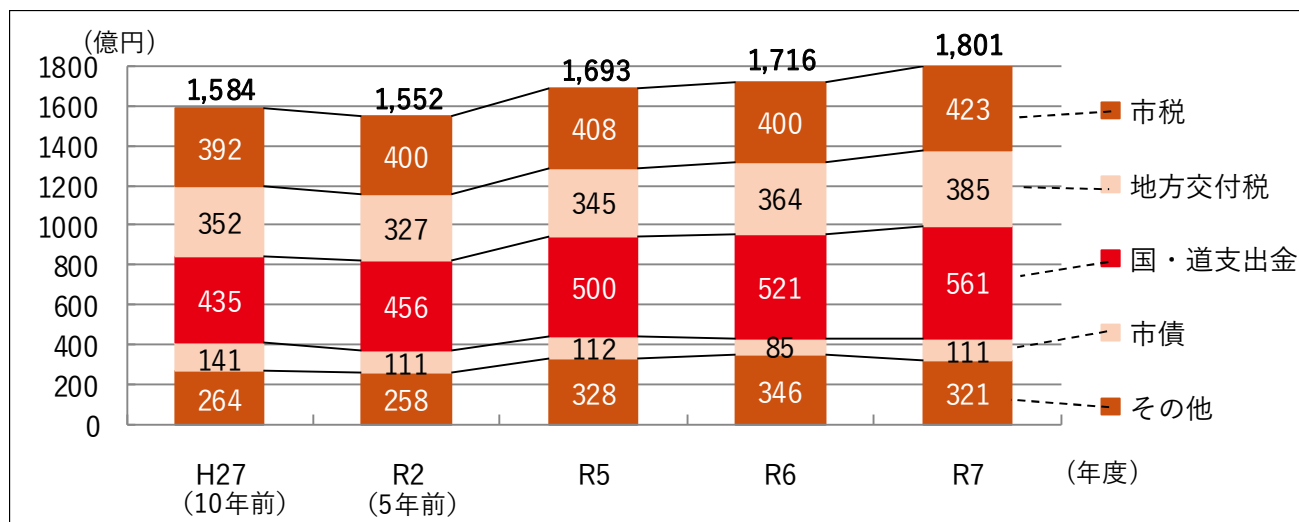


一般会計の歳入・歳出予算の推移はどうなっているの？

●歳入予算の推移

10年前と比べると国・道支出金が126億円増加しています。

子どもや障がい者などに関する制度改正に伴い国・道の負担金が増加したことが主な要因です。

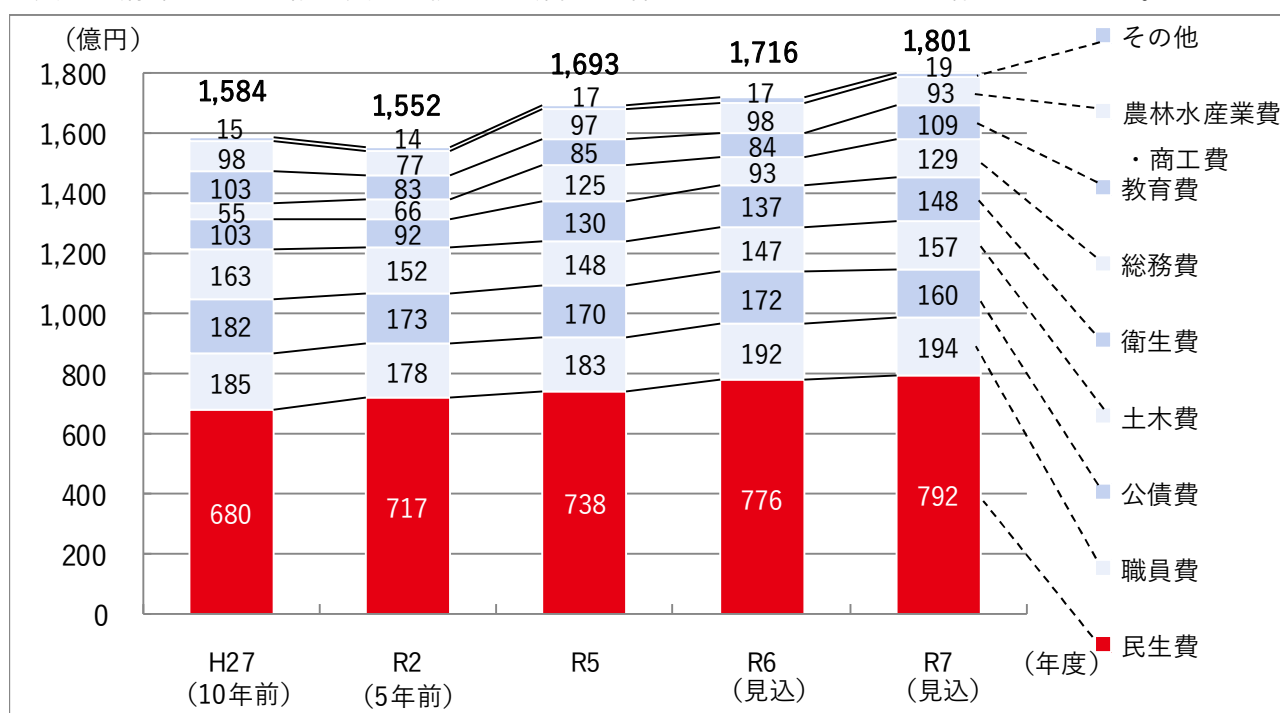


●歳出（目的別）予算の推移

10年前と比べると民生費が112億円増加しています。

子どもや障がい者、高齢者などに関する国の制度改正に伴う市負担分が増えていることが主な要因です。

また、総務費では旭川市立大学への補助金やふるさと納税の経費などにより73億円増加しているほか、衛生費では清掃工場の整備経費や病院事業会計への繰出金などにより45億円増加しています。

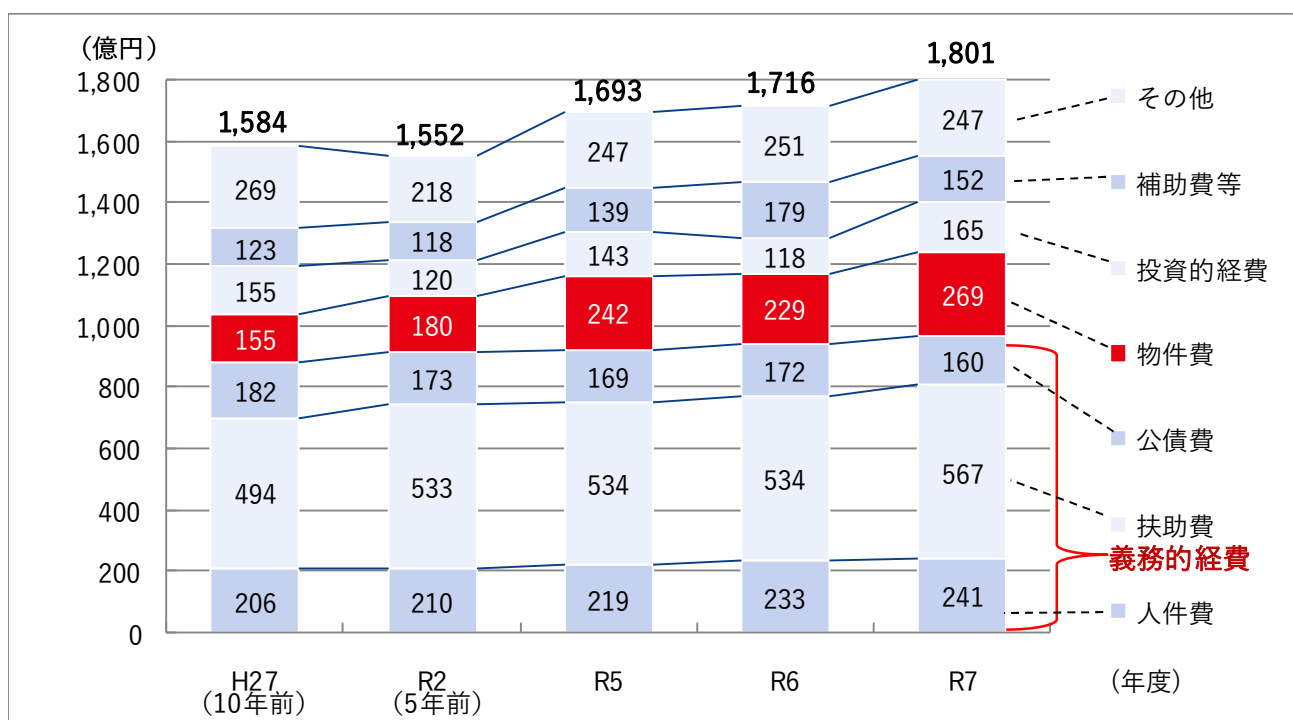


●歳出（性質別）予算の推移

10年前と比べると物件費が114億円増加しています。

ふるさと納税や業務システムの最適化に伴う経費が増えていることが主な要因です。

また、義務的経費は国の制度改正等による、扶助費や人件費の増により、86億円増加しています。



《用語解説》

物件費

業務委託や、市有施設の光熱水費などの消費的な経費です。

投資的経費

道路、公園、学校など、将来に残る施設などの整備を行うための経費です。

扶助費

児童・障がい者・高齢者・生活困窮者などを援助するための経費です。

義務的経費

人件費、扶助費及び公債費のことで、支出が義務的で任意に削減することが難しい経費です。この経費の比率が高くなればなるほど、本市独自の事業に使えるお金が少なくなり、実施が難しくなります。

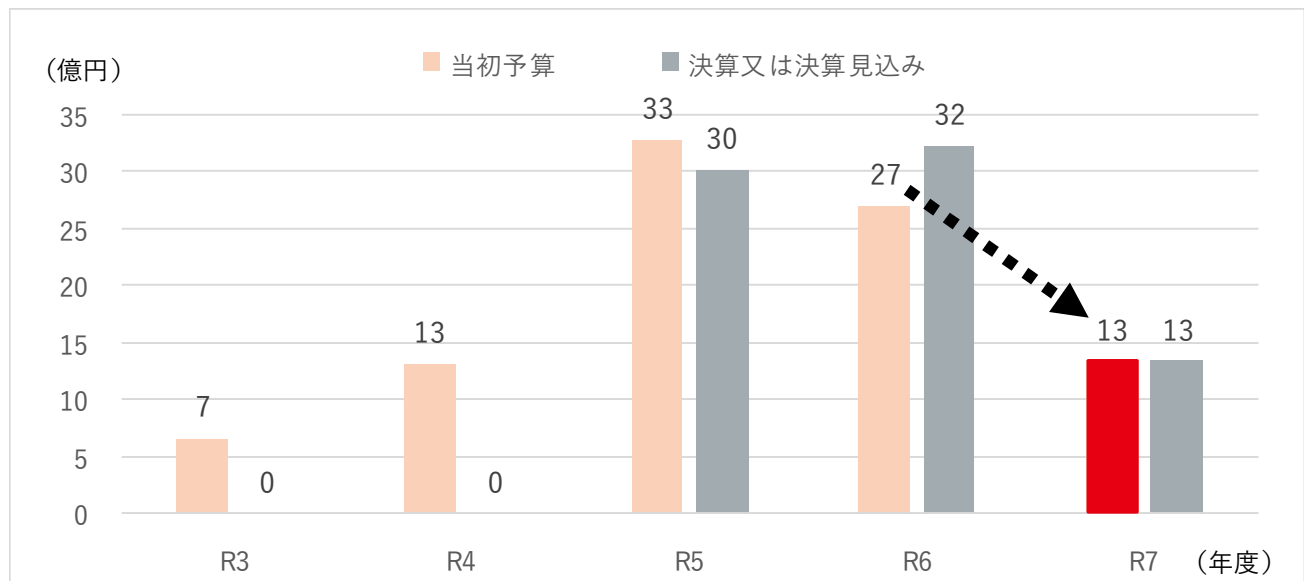
財政調整基金の取崩額と残高の推移はどうなっているの？

●財政調整基金の取崩額の推移

前年度から14億円減の、13億円を計上しています。

財政調整基金は収支不足や災害などの思わぬ支出に備えるための基金で、家庭で言えば貯金に当たるものです。

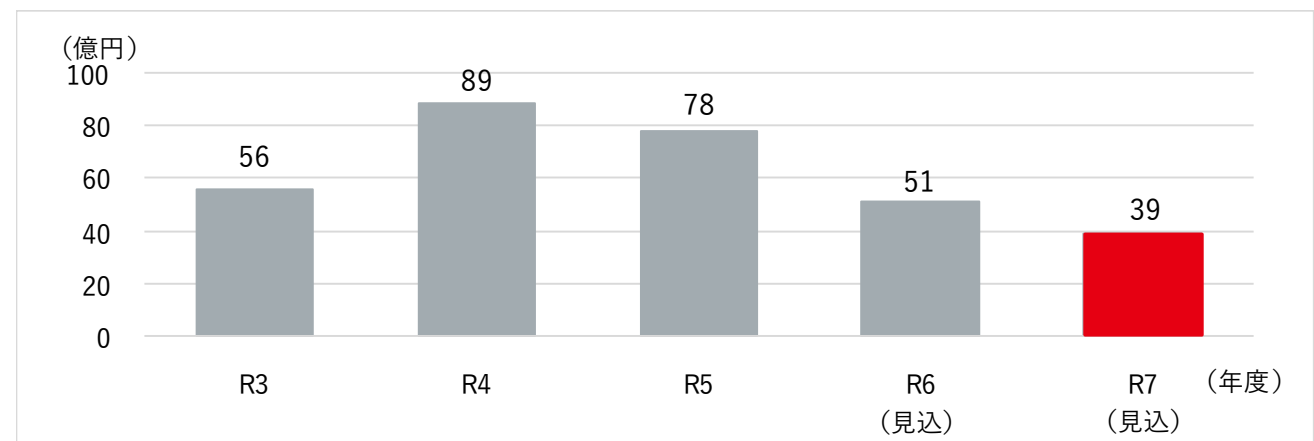
令和7年度当初予算の取崩額（繰入金）は13億円となっています。平成24年度から当初予算での収支不足が継続しており、補填財源として毎年計上しています。



●財政調整基金残高の推移

令和7年度末の基金残高は39億円となる見込みです。

令和5年度末で78億円の基金残高は、令和6年度末で51億円、令和7年度末で39億円となる見込みです。今後の不測の事態に備えるため、予算執行においても支出の節減や収入の確保などに取り組み、基金残高の確保に努めます。



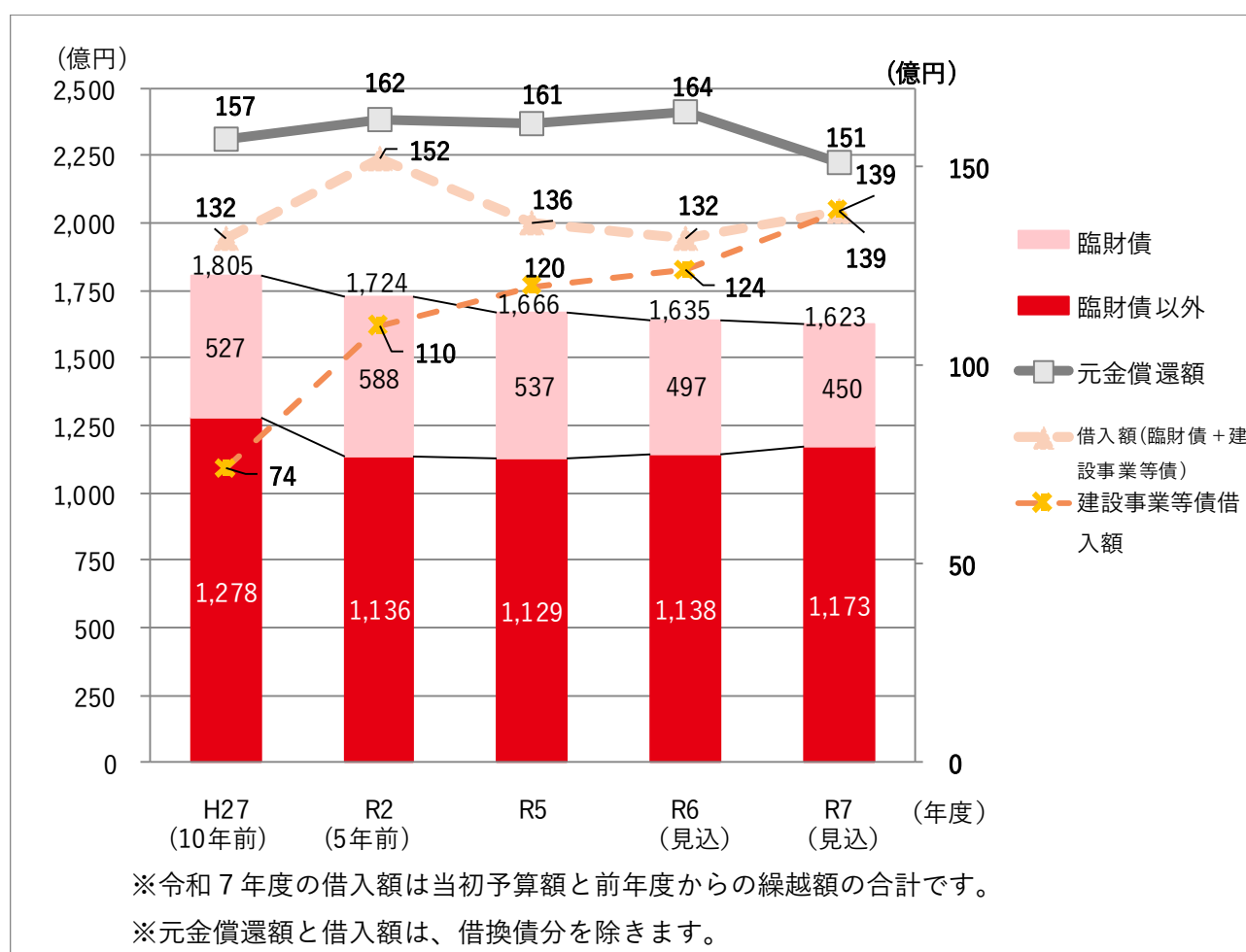
市債残高の推移はどうなっているの？

●市債残高の推移

臨財債以外は増加傾向、臨財債は減少傾向です。

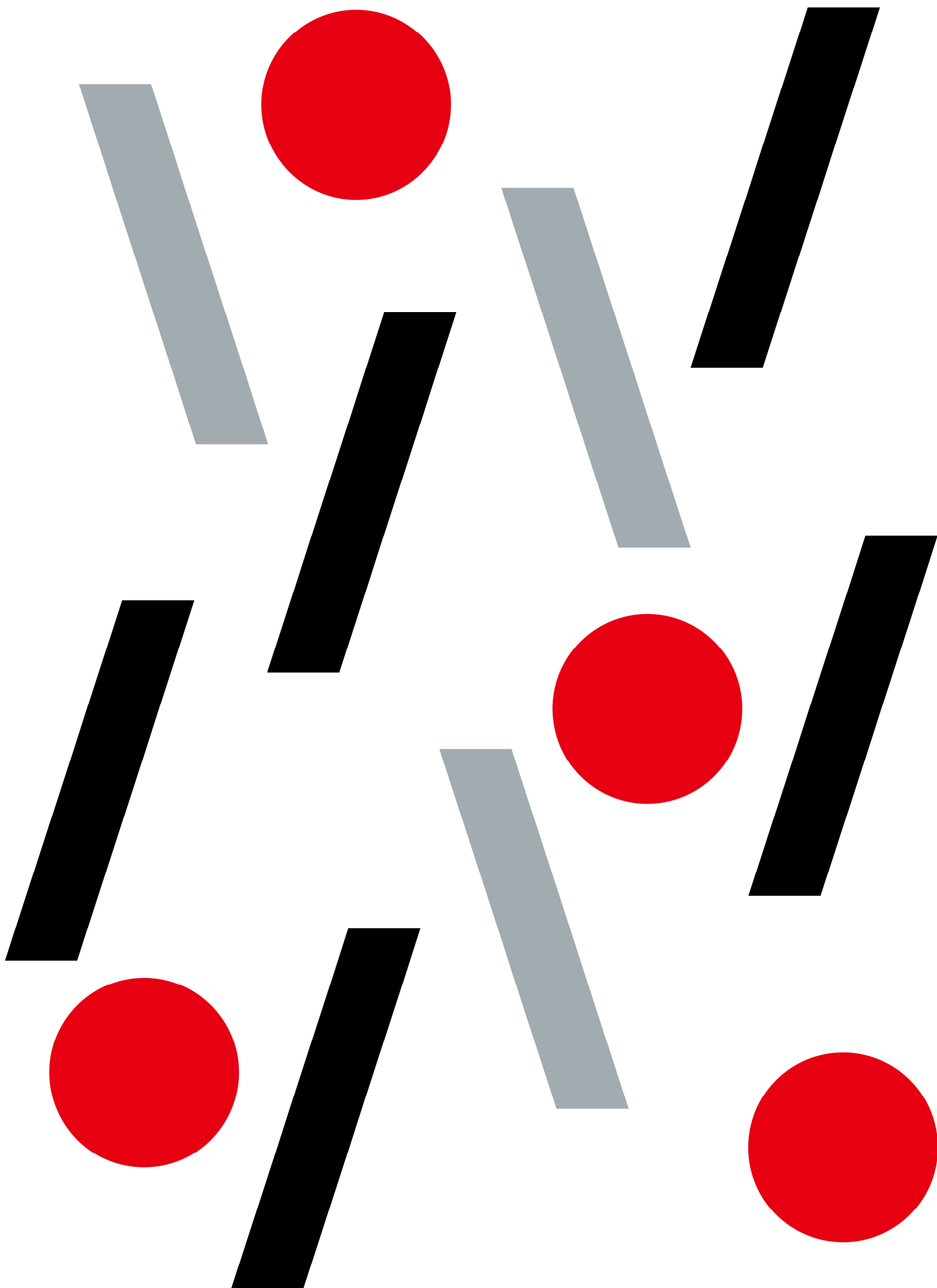
市債は、主に道路、公園、市営住宅、学校などを建設する際にその財源として発行するものです。近年は庁舎や学校施設の老朽化に伴う建替えなどのため、臨財債以外の発行額及び残高は増加傾向となっています。

また、地方交付税の振り替わりである臨財債の残高については、発行を開始した平成13年度以降、増加傾向にありましたが、令和3年度以降は発行可能額が減少しており、令和7年度には新規発行がゼロとなりました。



市債には世代間の負担を公平にするという役割がありますので、発行額と償還額のバランスを考慮し、引き続き計画的に発行していく必要があります。旭川市行財政改革推進プログラム2024において「令和6年度から令和9年度までの4年間において、臨財債を除いた建設事業等債で430億円以内」という目標を設定しています。





令和 7 年（2025 年）4 月発行
編集：旭川市総合政策部財政課
〒070-8525 旭川市 7 条通 9 丁目
TEL：0166-26-1111
<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/>